

Immunochemical analysis of iron transporters and M2 macrophages in ovarian endometrioma and clear cell adenocarcinoma

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-07-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 明石, 慶子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00033270

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 749 号	氏 名	明石 慶子
審 査 委 員 会	主 査 教 授	石津 綾子	
<p>論文審査の要旨 (400 字以内)</p> <p>本学位候補者の明石 慶子は Immunochemical analysis of iron transporters and M2 macrophages in ovarian endometrioma and clear cell adenocarcinoma に関して研究し、学位申請を行っている。本研究では、ovarian endometrioma と clear cell adenocarcinoma の human patient sample の immunohistochemical analysis が中心に行われている。Ovarian endometrioma と clear cell adenocarcinoma 両検体で Prussian blue staining にて endometrial endothelium および腫瘍 stroma 部に iron deposit を認めた。また、iron transporter (DMT1, TfR, FPN) の immunohistochemistry において、ovarian endometrioma and clear cell adenocarcinoma 間での染色性の違いが認められた。さらに、報告では、M1 および M2 macrophage を識別する染色を用いて、ovarian endometrioma と clear cell adenocarcinoma で M2 macrophage が優位に増殖しているデータを示している。これらのことから、組織内の iron deposit が卵巣における ovarian endometrioma の malignant transformation と clear cell adenocarcinoma の発生の一因である可能性が support された。本研究は Molecular and Clinical Oncology に掲載され、申請者の学位取得に関して、問題はない。今後、iron deposit がどのように malignancy を引き起こすのか、より詳細な iron dynamics を考慮したデータとともに、in vitro, invivo の詳細な系での検証が期待される。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			